

2023.2.10発行

MARUNAKA TIMES

第30号

新しい仲間を紹介します。NEW FACE



韓国から来た
パク ジョンファン
と申します。どうぞよろしく
お願いいたします。

어서 오세요
(オソオセヨ ようこそ！)



海外からの新しい仲間がもう一人増えました。
韓国から来てくれた「パク君」です。
ジョン君はじめ、若手社員たちとともに、成長して
いってほしいと思います。
マルナカの一員としてあたたかく迎え、仕事面だけでなく
私生活でもサポートしていきましょう。

社長のつぶやき

昨年は、全ての公共工事が3月竣工検査となり、実に大変な状況でした。竣工検査前日まで現場施工が続き、検査終了後も片付けや残務整理が4月～5月まで掛かりました。その間、仕事らしい仕事も無く。新年度早々大きな痛手を負いました。その影響は現在まで続いており、今期の決算内容は非常に厳しい状況になると予想されます。3月末(決算)まで残された期間は短く、挽回するにはかなり大変です。何事も小さなことの積み重ねです。各自「無駄ムラ無理」をなくし、安全第一で現場遂行をお願い致します。

---さて、報告です。

マルナカファームが昨年7月より進めて来ました「営農型あづま小富士第2太陽光発電所」事業ですが、令和5年1月30日付で福島市農業委員会からの許可が下りました。

本事業は、太陽光パネルの下で営農を行う「ソーラーシェアリング」という農水省が薦めているものです。簡単に説明すると、太陽光パネルを設置する際の杭や簡易施設の部分を農地転用として認める代わりに、パネル下で条件が悪くなった農地でもしっかりと営農(既存収量80%)を行ってください。という事業です。最近規制緩和等もあり、例えば認定農業者が営農事業者であれば一時転用の許可期限が3年から10年に出来る、など国が推し進めている事業である事は間違いないでしょう。おかげで、あちらこちらで関連する話を聞きます。そういった中でも当社の規模は46メガで、日本最大級だと言われていると思います。今後は多方面から注目されるのではないのでしょうか。

マルナカファームは、約20年間、条件の悪い農地で営農を継続しなければなりません。

しかし、その悪条件下でビジネスを成り立たせるのは至難の業。その代償として発電事業者側より営農支援金と言う形で支援して貰い、継続的に農業行う事が可能になるという仕組みなのです。

正に、農業(農水省)と再エネと(経産省)のコラボなのです。勿論、マルナカファームだけではマンパワーが足りませんので、マルナカとしても全面的に協力して行く予定です。詳細は、来年度の経営方針発表会於いて説明出来ればと思います。

当社は、企業理念である「近きをはかる者は貧す、遠きをはかる者は富」を掲げ、5年後10年後も、皆さんが安心して働ける環境を作り、地域に必要とされる企業となる為に、新しい事への挑戦を進めていきます。それが多方面に波及し、この様な事業に結べたのだと私は思います。

「時間が無いから。お金が無いから。歳だから。」それは言い訳です。何でも良いのです、先ずは動かないと何も始まりません。

楽しくするも自分、つまらなくするも自分です。ほかの誰の責任でもありません。

先ず、一歩踏み出しませんか？

今年度も、あと2か月です。これからも無事故、無災害で宜しく願ひ致します



※写真はイメージです。

[竣工] 第20-41310-0390号

公共災害復旧工事(河川) 口太川筋 二本松市田沢字辰子山地内



「竣工写真」



「施工前写真」

服部 守

五月からの出水時期での作業のため、増水による仮締切決壊等がありました。皆様
の努力により無事工事を完成する事が出来ました。



「施工前写真」

私の宝物・旅の思い出紹介します

齋藤智子さんの旅の思い出 カムイワッカ湯の滝

北海道の端っこ、知床半島にある天然の露天風呂です。
中学生の時に連れて行ってもらったのですが、滝が全部
温泉です。水着を着て登って行き、滝つぼに入浴します。
カムイワッカはアイヌ語で「神の水」という意味がある
そうです。パワースポットなので是非行ってください♪



パワースポットなんですね☆行ってみたい！

関 美帆さんの宝物 息子と娘

こどもは「世の宝」です。
優しく見守り
育てましょう♪



みなさんの宝物・旅の思い出紹介
楽しんでいただけたでしょうか？
こんなの載せてほしい、など
ご意見がありましたら
ぜひお寄せください。